

追加事業一覧

合計 77億円

区分	所管局	補正額
新たな長期計画の策定	知事本局	0.5億円
安心・希望・安定の社会保障の実現に向けた取組		
多様な保育サービス主体の参入促進等	福祉保健局 都市整備局	9億円
福祉人材の確保・育成・定着に向けた総合的な支援	福祉保健局	0.4億円
救急医療の充実強化	福祉保健局 東京消防庁	1億円
東京子育て応援ファンドの創設	福祉保健局	21億円
史上最高のオリンピック・パラリンピックに向けた取組		
道路の無電柱化・バリアフリー化	建設局	4億円
快適な自転車走行空間の確保に向けた調査検討	建設局	0.1億円
自転車レーンの整備・自転車シェアリング普及促進	建設局 環境局	0.2億円
手話のできる都民育成事業	福祉保健局	0.3億円
「外国人おもてなし語学ボランティア」育成事業	生活文化局	0.5億円
治安の良い街づくり（通学路防犯設備整備事業）	青少年・治安対策本部	2億円
大災害にも打ち勝つ都市		
先進的防災技術実用化支援事業	産業労働局	13億円
防災ブックの検討・作成	総務局	5億円
世界をリードする産業・人材都市に向けた取組		
東京発「クールジャパン」（中小企業等の国際展開）の推進	産業労働局	4億円
官民連携再エネファンドの創設	環境局	12億円
次世代エネルギー「水素社会」の実現に向けた調査検討	環境局	0.4億円
世界に通用する人材の育成		
在京外国人の英語授業への活用	教育庁	3億円

◆ 新たな長期計画の策定 **0. 5億円**

- ・ 東京の目指すべき「将来像」の実現に向けて、10年先を見据えた長期計画を策定する

安心・希望・安定の社会保障の実現に向けた取組

都民が安心でき、希望の持てる社会保障の実現に向けて、待機児童の解消に向けた取組や、福祉人材の確保・育成・定着、救急医療の充実、都民・企業と一体となった少子化対策を行う

◆ 多様な保育サービス主体の参入促進等 **9億円**

- ・ 今後4年間での待機児童解消に向けて、株式会社やNPO法人など様々な主体が保育サービスに参入するための支援などを行う

◆ 福祉人材の確保・育成・定着に向けた総合的な支援

0. 4億円

- ・ 訪問看護ステーションに事務作業等を担う人材を配置するモデル事業を行うとともに、福祉人材の確保・育成・定着を総合的に支援する新たな仕組みの構築に向けた検討を行う

◆ 救急医療の充実強化 **1億円**

- ・ 救急医療体制の充実強化を図るため、地域救急医療センターの強化や、中小病院への体制確保支援、「#7119」の利用促進を行う

◆ 東京子育て応援ファンドの創設 **21億円**

- ・ 東京子育て応援ファンドを創設し、企業やNPO法人などが行う創意工夫を凝らした様々な事業を支援することで、社会全体での子育て支援を進める

史上最高のオリンピック・パラリンピックに向けた取組

史上最高のオリンピック・パラリンピックの開催に向けて、バリアフリーに配慮した優しい街づくりや自転車の活用、手話通訳や高齢者を活用した語学ボランティアの拡充、治安の改善に向けた取組を加速させる

◆ 道路の無電柱化・バリアフリー化 4億円

- ・ オリンピック・パラリンピック競技会場へのアクセス道路の無電柱化・バリアフリー化を、開催までに完了させるため、取組を加速化する

◆ 快適な自転車走行空間の確保に向けた調査検討 0.1億円

- ・ 主な競技会場周辺等において、自転車が安全に走行できる推奨ルートを検討する

◆ 自転車レーンの整備・自転車シェアリングの普及促進 0.2億円

- ・ 自転車レーンの整備加速化に加え、自転車シェアリングの広域化促進に向けた調査検討を実施する

◆ 手話のできる都民育成事業 0.3億円

- ・ 国内外の聴覚障害者に対する受け入れ態勢の整備に向けて、手話通訳の裾野拡大や、国際手話・外国語手話の話者育成を図る

◆ 「外国人おもてなし語学ボランティア」育成事業 0.5億円

- ・ 外国人観光客の受入等に当たって、簡易な日常会話レベルの語学力を有するボランティアを、高齢者を中心に育成する
- ・ 基礎的な英語の習得を図ることで、高齢者の生きがいを保ち、社会参加を促すとともに、都民全体での「おもてなし」機運を醸成する

◆ 治安の良い街づくり(通学路防犯設備整備事業) 2億円

- ・ 都民が安心して暮らし、外国人旅行者が安心して訪れることができる治安の良い街づくりの一環として、区市町村教育委員会と連携し、見守り活動や、防犯カメラの設置への支援など、子供の安全対策を推進する

大災害にも打ち勝つ都市

東京の技術力と経験で防災対策を加速化させるため、都内中小企業等が持つ技術の実用化等への支援を行うとともに、各家庭における災害への備えが万全となるよう、防災ブックの検討・作成を行う

◆ 先進的防災技術実用化支援事業 13億円

- ・ 都内中小企業等が持つ先進的な防災技術について、実用化から普及までを一貫して支援し、防災対策の取組を加速化する

◆ 防災ブックの検討・作成 5億円

- ・ 各家庭において、食料等の備蓄など、首都直下地震等に対する備えが万全となるよう、防災ブックを検討・作成する

世界をリードする産業・人材都市に向けた取組

中小企業の国際展開を支援することで、日本経済の復活を東京発で現実のものとするとともに、再生可能エネルギーの拡大に向けたファンドの創設や、次世代エネルギーの活用に向けた検討を行う

◆ 東京発「クールジャパン」(中小企業等の国際展開)の推進

4億円

- ・ 「クールジャパン」の魅力発信につながる都内中小企業等の国際展開を後押しするため、人材育成や販路開拓等の取組を支援する

◆ 官民連携再エネファンドの創設 12億円

- ・ 都内及び東北地方等での投融資を行うファンドを創設し、再生可能エネルギーによる発電の拡大を一層推進する

◆ 水素社会の実現に向けた調査検討 0.4億円

- ・ 次世代エネルギーとして期待される水素を活用した水素社会の実現に向け、東京戦略会議を設置し、26年度中にロードマップを作成する

世界に通用する人材の育成

◆ 在京外国人の英語授業への活用 3億円

- ・ 聴けて話せる、使えることに重点を置いた英語教育の充実に向けて、在京外国人の外国語教育への参加を更に促進し、都立高等学校の1・2年生全員がネイティブの英語に触れる機会を設ける